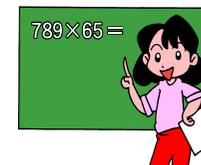


【算数】分析



○正答率の高い力

A 教科の内容（基礎的基本的な能力）

| 問われている力 | 設問 | 正答率 |
|---|-------------|-------|
| <ul style="list-style-type: none"> 複合図形の面積の求め方をとらえ、式から図に表すこと【数学的な考え方】 直方体の『辺と辺』『面と面』『面と面』の関係についての理解【知識理解】 | 4-(2) | 95.6% |
| | 6-(1) ①② | 93.3% |

B 読み解く力に関する内容（思考力・判断力・表現力）

| 問われている力 | 設問 | 正答率 |
|--|-------|--------|
| <ul style="list-style-type: none"> ヒントをもとに、情報を正しく取り出す【必要な情報を正しく取り出す力】 | 8-(1) | 90.00% |

○正答率の低い力 →

各学年の授業改善に生かす。

A 教科の内容（基礎的基本的な能力）

| 問われている力 | 設問 | 正答率 | 課題 | 改善点（具体的な学習活動・内容・方法） |
|---|-------|-------|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 数の相対的な見方【知識・理解】 小数×小数の問題【技能】 単位の考えを基として、小数÷整数の計算の仕方の理解【知識・理解】 | 2-(4) | 53.3% | <ul style="list-style-type: none"> 0を取る処理能力と数字に表わすこと(漢数字→数字、0をとる) 筆算の積の部分の小数点の移動 0.1を単位とし小数を整数に置き換えて計算すれば、既習 | <ul style="list-style-type: none"> ベーシックドリルを活用して、問題演習を繰り返し行い、定着を図る。(授業の習熟段階時・家庭学習・学期末等) 既習事項を使って問題解決をする点をより意識して授業を展開することを繰り返す。 |
| | 1-(3) | 60.0% | | |
| | 3-ウエ | 62.2% | | |

B 読み解く力に関する内容（思考力・判断力・表現力）

| 問われている力 | 設問 | 正答率 | 課題 | 改善点（具体的な学習活動・内容・方法） |
|---|-------|-------|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 表や式をもとに、2つの数の関係について関連付けて正しく読み取ること【比較・関連付けて読み取る力】 2つの数について読み取った関係を正しく用いて問題を解決すること【意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力】 | 8-(2) | 40.0% | <ul style="list-style-type: none"> 数や式が何を表しているかを具体的に考えること 図から記号を使った式をつくること | <ul style="list-style-type: none"> 図や表から式を作る活動と、式から図を作る活動の双方の活動を充実させる。 記号を使った式を作ったり、その式を活用する機会を意図的に設定する。 |
| | 8-(3) | 44.4% | | |

本年度の重点…基礎的・基本的な能力の強化
思考力・判断力・表現力の向上

【具体的な実践】

●低学年…

●中学年…

●高学年…

| | 基礎的・基本的な能力の強化 | 思考力・判断力・表現力の向上 |
|-------|---|--|
| ●低学年… | <ul style="list-style-type: none"> ・ベーシックドリルを繰り返し活用(計算技能) ・具体物を使ったり、操作したりする活動の充実 | <p>○指導計画の重点化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験的な活動を増やす ・多様な考え方を表現する時間を十分に確保する。 ・「事象」→「図・表」→「式」や「式」→「図・表」→「事象」のような多様な思考場面を繰り返す。 |
| ●中学年… | <ul style="list-style-type: none"> ・ベーシックドリルを繰り返し活用(計算技能・計算のきまり・図形の性質や特徴) ・既習事項を活用して問題解決する活動の充実 | |
| ●高学年… | | |